



第51回 関西知夫会 総会

令和4年10月16日、大阪キャスルホテルにおいて、3年ぶりに第51回関西知夫会が開催されました。コロナ禍にあって開催に至つては、感染状況を踏まえ、ギリギリ（9月初旬）まで迷いましたが、開催することとなりました。

当日は、知夫村から田上副村長をはじめ、並河議員、萬議員、そして地域振興課とPR隊の皆様、また、島根県大阪事務所永岡所長、隠岐汽船木下社長と多数のご来賓のご臨席を賜り、予想外の盛会となりました。特に恒例の懇親会では、あざみ会（仲とき子代表・松下絹衣さん・仲真樹子さん）の指導の下、初めての試みでしたが、「しげさ節」の手習いによる総踊りや、全員が「しゃもじ」を叩いて踊った「キンニャモニャ」で会場が一体となり最高潮に達しました。そして続くカラオケの飛入では、老若男女、次から次へと10人ほどが熱唱しましたが、中でも並河議員の見事な尺八演奏に、極めつけは「山本リンダ」の曲に乗りきった田上副村長の『どうにもとまらない』ダンスでステージは大いに盛り上がりました。

# 第51回 関西知夫会



《関西知夫会》

連絡先：080-7879-5954

事務局・下濱（しもはま）迄

※関西知夫会は、毎年、

10月第3日曜日に開催です。

【今年は、10月15日】

あつという間の3時間でしたが、懐かしい顔やら懐かしい話で郷土愛に溢れた熱気に包まれ、知夫里に帰ったような錯覚をおこします。また近年は、若年層の会員も増え、終了後の二次会など、次の世代へと繋げたいと思います。何かしら知夫里にご縁のある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

そして最後は、木下会長の皆様へ感謝を込めた『相撲甚句』の名調子で、来年の再会を祈念して幕を閉じました。

